



自衛隊栃木地方協力本部

餃子だけじゃない！宇都宮市で自衛隊をアピール！ 栃木地本主催「自衛隊グリーンフェスタ2023」



パイロットトークショー（右：新妻曹長）



アーケード街に展示されたFH-70の
大きさに驚く来場者



中央即応連隊の軽装甲機動車展示と
栃木地本キャラクター達

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 恒一郎・陸佐）は5月14日（日）、餃子で有名な宇都宮市のオリオンスクエア及び、隣接するオリオン通りで「自衛隊グリーンフェスタ2023」を開催した。これは2014年から続く栃木地本企画の最大のイベントであり、今回で8回目を迎える。コロナ禍による中止や縮小開催を経て4年ぶりの通常開催となった。

当日は約7,000名が来場し、陸上自衛隊第12音楽隊による野外コンサートでは、「ジャズのみち」で知られている宇都宮市にちなみ、ジャズを含む9曲の演奏が午前、午後の2部形式で行われ、観客が曲に合わせて手拍子し、会場が一体となる場面も見られた。演奏後、「元気をもらいました」「感動して泣きそった」「好きな曲がかかってテンションが上がった」等の感想が聞かれた。

ステージエリアでは音楽演奏のほかに、女性パイロット（航空教育集団司令部（浜松）空曹長 新妻 美柚によるトークショーや自衛隊チャレンジクイズも行われ、老若男女問わず、多くの来場者で盛り上がった。



陸上自衛隊第12音楽隊の演奏



募集ブースで説明を受ける対象者



自衛隊クイズ優勝者紹介の様子



離脱する車両を多くの来場者が見送ってくれた。

会場に隣接するオリオン通りには、中央即応連隊（宇都宮）、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）及び航空自衛隊百里基地第7基地防空隊の支援を受け155mm榴弾砲FH70、野外炊具1号、軽装甲機動車、96式装輪装甲車、輸送防護車、高機動車、偵察用バイク、基地防空用地対空誘導弾発射装置などの自衛隊車両がアーケード街の道いっばいに並んで展示され、来場者からは「たくさん自衛隊車両がこれだけ並んでいると圧巻です！貴重な機会になりました！」「餃子を食べに来たけど、自衛隊のイベントも見ることができて楽しい一日になりました！」と好評を得ていた。

栃木地本は「今後も広報イベントを通じ、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただければ」と活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していくとしている。



基地防空用地対空誘導弾発射装置の前で記念撮影をする来場者



96式装輪装甲車の展示の様子



海上自衛隊移動広報の展示の様子

オリオンスクエア内のオープンエリアでは人命救助システム、制服試着、募集広報及び、海上・航空自衛隊広報コーナーが設けられ、特に募集ブースでは広報官等が説明にあたり、募集活動に大きな成果を得られた。また、航空自衛隊浜松基地より支援で来ていた女性パイロットが対応する場面では「戦闘機の女性パイロットってすごいですね」と経験談等に聞き入る姿が見られた。